

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 27	
企画名	ゲームで学ぶ、在宅医療における感染予防対策
日時	2016年6月12日(日) 13:30～15:00
会場	第10会場 (台東区民会館 8階 第3会議室)
企画責任者	坂口眞弓 (みどり薬局)
定員	24名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b></p> <p>在宅訪問先や高齢者施設における感染症の予防への貢献もプライマリ・ケアに関わる者の重要な役割の一つである。プライマリ・ケアに従事する者は、インフルエンザウイルスや MRSA、結核、ノロウイルス等による感染性胃腸炎などに罹患した者への対応時や相談を受けた際に、適切な感染予防対策を講じる必要がある。</p> <p>本ワークショップでは、実際に直面した事例、相談を受けた事例に基づいて作成されたボードゲーム型教材を活用し、適切な感染防止対策を実践できる知識を身につけることを目標とする。</p>	
<p><b>【概要】</b></p> <p>初めに講義を通して、留意すべき微生物、感染経路とその特徴、予防策(標準予防策、感染経路別予防策)、個人防護具の知識、洗浄・消毒の基礎知識と留意点、実際の対策にあたっての考え方について知識の整理、確認を行う。その後、4名1組に別れ、ボードゲーム型教材の事例を通して体験型学習を行う。</p> <p>ゲームを教材として用いることによって、参加者は感染症防止対策を自らの問題としてアクティブに考えることができ、知識の定着に有用である。また、本ゲーム教材を用いた学習により、学習者の好奇心や探究心の向上、目標とのむすびつけ、学習意欲の向上に有効であることが報告されている(川村ひとみ, 岸本桂子*, 松田俊之, 福島紀子. 感染症対策に関するボードゲームと講義による学習効果の比較に関する検討. YAKUGAKU ZASSHI, 134(7), 839-849)。</p>	